

日本医師会  
令和6年度(第58回)臨床検査精度管理調査

【 積水メディカル 試薬・測定法分類コード表 】

試料送付・回答締切

臨床検査室等 送付日 : 令和6年9月3日(火) (到着予定)  
締切日 : 令和6年9月12日(木)

特記事項

1. 日常検査において、メーカー指定の製造業者製品校正物質によりキャリブレーションを実施している場合このキャリブプレータを検体として測定した場合、企業の標準品にてトレーサビリティを確認したことになりますので、[企業の標準品]コード番号(7)を選択してください。
2. 臨床化学自動分析装置 EV800 (測定装置コード表 より)

測定装置名	企業名	コード
積水メディカル EV800	日立ハイテクノロジーズ 積水メディカル	BBC520

お問い合わせ先 : カスタマーサポートセンター コールセンター

**TEL 0120-249-977**

積水メディカル株式会社  
カスタマーサポートセンター

## [ 項目別記入例 ]

### 1. 総蛋白

トレーサビリティの確認調査あり

- (1) 【アナセラム ALB・TP標準液】 【セロノルム・ヒューマン】  
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)] を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリニメイト T P	11 ビュレット法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ T P				
クオリジェント T P				

- (2) 【総蛋白・アルブミン標準血清】 【セロノルム・ヒューマン】  
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)] を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS T P	11 ビュレット法	04 カインス	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリジェント T P-N				

### 2. アルブミン

トレーサビリティの確認調査あり

- (1) 【アナセラム ALB・TP標準液】 【セロノルム・ヒューマン】  
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリニメイト A L B	11 BCG法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ A L B				

- (2) 【セロノルム・ヒューマン】 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)]  
 【セロノルム・マルチキャリブレータ】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS A L B-N	22 BCP改良法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリジェント A L B-N				

### 3. 総ビリルビン

- (1) 【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「T-BIL-LQ」	31 酵素法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0 <sup>※</sup>

※：日常検査で報告している小数点以下1桁または2桁で回答してください

### 4. 直接ビリルビン

- (1) 【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「D-BIL-LQ」	32 酵素法 δビリルビンを測り込まない方法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0 <sup>※</sup>

※：日常検査で報告している小数点以下1桁または2桁で回答してください

## 5. ブドウ糖

トレーサビリティの確認調査あり

### (1) 【アナセラムGLU標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 整数
ピュアオートS GLU				
クオリジェント GLU				
オートセラS GLU				

### (2) 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
ピュアオートS GLU				
クオリジェント GLU				
オートセラS GLU				

## 6. 総カルシウム

トレーサビリティの確認調査あり

### (1) 【アナセラム CA標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリニメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC法)	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラ CA				
P T S用オートセラ CA				
クオリジェント CA				

### (2) 【セロノルム・ヒューマン】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリニメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラ CA				
P T S用オートセラ CA				
クオリジェント CA				
アキュラスオート Ca II	61 酵素法	11 シノテスト		

## 7. 無機リン

トレーサビリティの確認調査あり

### (1) 【アナセラム IP標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリニメイト I P-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリジェント I P				

### (2) 【セロノルム・マルチキャリブレーター】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリニメイト I P-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリジェント I P				
ピュアオートS I P	31 酵素法			
クオリジェント I P-N				

## 8. マグネシウム

トレーサビリティの確認調査あり

### (1) 【アナセラム MG標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリジェント MG				

### (2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリジェント MG				

## 9. 尿素窒素

トレーサビリティの確認調査あり

### (1) 【アナセラム UN標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UN-N	23 アンモニア除去法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリジェント UN-N				

### (2) 【セロノルム・ヒューマン】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

【セロノルム・マルチキャリブレーション】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UN-N	23 アンモニア除去法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリジェント UN-N				

## 10. 尿酸

トレーサビリティの確認調査あり

### (1) 【アナセラム UA-E標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UA	31 ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラS UA				
クオリジェント UA				

### (2) 【セロノルム・ヒューマン】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

【セロノルム・マルチキャリブレーション】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UA	31 ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラS UA				
クオリジェント UA				

## 1 1. クレアチニン

トレーサビリティーの確認調査あり

### (1) 【アナセラム CRE標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.00
ピュアオートS CRE-L				
クオリジェント CRE				

### (2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

#### 【血清マルチキャリブレーション( SEKISUI )】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.00
ピュアオートS CRE-L				
クオリジェント CRE				

## 1 2. 血清鉄

トレーサビリティーの確認調査あり

### (1) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

#### 【血清マルチキャリブレーション( SEKISUI )】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS FE	21 直接比色法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	µg/dL 整数
クオリジェント FE				

## 1 3. AST

トレーサビリティーの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレーションプラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピュアオートS AST-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クオリジェント AST-L				

## 1 4. ALT

トレーサビリティーの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレーションプラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピュアオートS ALT-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クオリジェント ALT-L				

## 1 5. LD

トレーサビリティーの確認調査あり

IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレーションプラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピュアオートS LD-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クオリジェント LD-IFCC				

## 16. ALP

トレーサビリティの確認調査あり

IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	緩衝液
ピュアオートS ALP-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	3 2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール (AMP)
クオリジェント ALP-IFCC				
	検量法			
ピュアオートS ALP-IFCC	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定			
クオリジェント ALP-IFCC				

## 17. γ-GT

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピュアオートS γ-GT	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジェント γ-GT				

## 18. CK

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピュアオートS CK-L	11 JSCC(IFCC) 標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジェント CK-L			11 シノテスト	
シグナスオート CK				

## 19. アミラーゼ

トレーサビリティの確認調査あり

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイイチ」】で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	試薬キットの 製販元
ピュアオートS AMY-G 2	112 JSCC標準化対応法	740 Gal-G-2CNP	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル
クオリジェント AMY-G 2		532 B-G-7PNP		
ピュアオートS AMY-G 7				
クオリジェント AMY-G 7				
	検量法			
ピュアオートS AMY-G 2	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定			
クオリジェント AMY-G 2				
ピュアオートS AMY-G 7				
クオリジェント AMY-G 7				

## 20. コリンエステラーゼ トレーサビリティーの確認調査あり

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「ダイナ」】で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	試薬キットの 製販元
ピュアオートS CHE	11 JSCC標準化対応法	32 p-ヒドロキシベンゾイルコリンを 基質とする方法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル
クオリジェント CHE				
	検量法			
ピュアオートS CHE	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定			
クオリジェント CHE				

## 21. 総コレステロール トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS CHO-N	11 コレステロール酸化酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
コレステスト CHO				
クオリジェント CHO				

## 22. 中性脂肪 トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS TG-N	21 酵素比色法 グリセロールを消去する方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
オートセラS TG-N				
コレステスト TG				
クオリジェント TG				
コレステストN TG	22 酵素比色法 グリセロールを消去しない方法(直接法)			

## 23. HDL コレステロール トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステストN HDL	01-1201 沈殿操作を行わない方法：積水メディカル (コレステストN HDL、クオリジェント HDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリジェント HDL			

## 24. LDL コレステロール

	試薬キット名	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステスト LDL	01-1201 積水メディカル (コレステスト LDL、クオリジェント LDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリジェント LDL			

## 25. HbA1c

ルディア

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名		キャリブレーションおよび 検量方法の種類	単位 桁数
キット名称			
(RE)ルディアN HbA1c	03-1201 酵素法 積水メディカル	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0
ルディアN HbA1c	(ルディアN HbA1c、HbA1cオート「TBA」)		
Lタイプ ルディアN HbA1c	03-1202 酵素法 積水メディカル (Lタイプ ルディアN HbA1c)		

測定結果はNGSP値を記載して下さい

### 測定用前処理試料の作製

精度管理用試料（凍結乾燥品）を測定するには下記の手順で試料の調整を行ってください

#### <準備物>

1. 精度管理用試料（凍結乾燥品）
2. **精度管理用試料専用希釈液（専用希釈液）**・・・弊社DMRにお申し付けください
3. **「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」**又は**「Lタイプ HbA1c前処理液」**

#### <調整方法>

- (1) 精度管理用試料（凍結乾燥品）を指定された手順で溶解します



精度管理試料を精製水で溶解します

- (2) 溶解した精度管理用試料0.1mLに**専用希釈液0.1mL**を添加混合します



精度管理試料  
0.1mL

+



専用希釈液  
0.1mL

=



HbA1c混合試料  
0.2mL

#### ・(RE) ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1cをご使用の場合

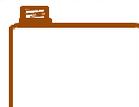
【機種：日立、キヤノン、日本電子、ヘックマン ほか】

- (3) (2)で混合した**HbA1c混合試料0.1mL**に**「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」0.6mL**を加えて攪拌し**HbA1c前処理試料**とします。調整後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。



HbA1c混合試料  
0.1mL

+



HbA1c前処理液  
0.6mL

=



HbA1c  
前処理試料

→ 測定

- ・EV800、日立7180オプション機能付では、コントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します
- ・TBA-120FR系、AccuteRX 400FR自動前処理機能付では、患者依頼画面にて“再検1”又は“再検2”で依頼し測定します
- ・TBA-nx360では、オーダー画面にて項目選択しアッセイオプションにて希釈タイプ“HemB”で依頼し測定します
- ・ビオリス 30iでは、コントロールポジション又は検体受付画面にて検体種別“HbA1c(溶血)”で依頼し測定します

【機種：日本電子BMシリーズ、ZS050で自動前処理を行う装置】

- (3) (2)で混合した**HbA1c混合試料0.1mL**に**「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」0.4mL**を加えて攪拌し**HbA1c前処理試料**とします。調整後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。



HbA1c混合試料  
0.1mL

+



HbA1c前処理液  
0.4mL

=



HbA1c  
前処理試料

→ 測定

- ・日本電子BMシリーズ自動前処理機能付きでは、コントロールポジション又は溶血済みポジションで測定します
- ・日本電子ZS050自動前処理機能付きでは、測定項目受付画面の検体材料から“溶血済み”で依頼し測定します

#### ・Lタイプ ルディアN HbA1cをご使用の場合

ラボスペクト 006/003/008/008a

- (3) (2)で混合した**HbA1c混合試料0.1mL**に**「Lタイプ HbA1c前処理液」0.4mL**を加えて攪拌し**HbA1c前処理試料**とします。調整後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。



HbA1c混合試料  
0.1mL

+



HbA1c前処理液  
0.4mL

=



HbA1c  
前処理試料

→ 測定

- ・ラボスペクト006自動前処理機能付では、コントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します

## 25. HbA1c

## 【 グリコヘモグロビン分析装置 RC20 】

◎測定装置コード表 より

G. 専用臨床化学分析装置  
B) HbA1c測定装置

コード	企業名	測定装置名
GBR201	積水メディカル	RC20

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名 キット名称		キャリブレーションおよび検量方法の種類	単位 桁数
RC20	01-1201 HPLC法 (積水メディカル)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0

測定結果はNGSP値を記載して下さい。

・グリコヘモグロビン分析装置RC20ではヘモグロビン濃度 **約1.5g/L** の時に最適な測定値が得られます。

#### HPLC法 試料9, 10の取り扱いに関する補足事項

サーベイ試料が凍結乾燥品で、規定量の精製水で溶解したときの総ヘモグロビン濃度が約10g/dLの場合は下記の通りです。その他の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

試料を**精製水0.14mL**で溶解し、専用の検体採取デバイスで吸引します。検体採取デバイスを装置にセットし、日常検体と同様に測定を行ってください。

**注) 試料を溶解した後は速やかに測定してください。**

**直ぐに測定できない場合は冷蔵庫で保管し、1時間以内に測定してください。**

**任意補正值を設定されている場合は、a : 1.000、b : 0.000に戻してから測定してください。**

## 26. インスリン

トレーサビリティの確認調査あり

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元	単位 桁数	検量点
ルディア インスリン (積水メディカル)	05-1206 LIA [ラテックス免疫測定法] μU/mL 0.0	6 点

## 33. PSA

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元	単位 桁数	検量点
ナピア P S A (積水メディカル)	05-1201 LIA [ラテックス免疫測定法] ng/mL 0.0	6 点

## 37. TP抗体

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元	利用している 単位	桁数	貴施設の 陽性下限値
メディエース T P L A (積水メディカル)	05-1204 LIA [ラテックス免疫測定法] 3 T.U.	0.00	10.00 T.U.

陽性：10.0 T.U.以上

## 38. CRP

トレーサビリティの確認調査あり

測定値はERM-470、DA472/IFCCまたはDA474/IFCC(IRMM)を伝達した値により評価します。

	測定法	試薬キットの 製販元	単位 桁数	C R P 標準品 (起源)
ナピア C R P	21 ラテックス比濁法	15 積水メディカル	mg/dL 0.00	12
クオリジエント C R P				ERM-DA470,DA472/IFCC またはDA474/IFCC(IRMM)

## 39. リウマトイド因子

トレーサビリティの確認調査あり

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元	単位 桁数	貴施設の カットオフ値
N-アッセイ L A R F - K ニット-ホー (ニット-ホー-メディカル)	05-2602 LIA [ラテックス免疫測定法] IU/mL 0.0	参考 15.0 IU/mL以下

## 48. プロトロンビン時間(PT)

◇ 試薬キット名 ※ ( ) 内は製造販売元

試薬名	コアグピア PT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピア PT-Liquid (積水メディカル)	01-1202
	トロンボチェックPT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェックPTプラス (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター-N (積水メディカル)	0061
	コアグトロールN (シスメックス)	0010
	AKキャリブラント(INR表示血漿) (シスメックス)	0014

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定・演算事項

ISI値	試薬キット記載値 or ローカル SI	小数点以下第2位まで報告 0.00
測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
プロトロンビン比	(試料23の秒数) / (試料22の秒数)	小数点以下第2位まで報告 0.00
INR※	(プロトロンビン比) <sup>ISI</sup>	小数点以下第2位まで報告 0.00

※INR値の算出：プロトロンビン比のISI乗(べき乗算)により算出します。

ISI	製造販売元指定(試薬キット添付書類記載)の値を使用	1
	自施設で設定したLocal ISI値を使用	2
	検量線によって自動的に算出されるINRからISI値を逆算	3
	その他	9

◇ ISI値の記載について

### ・コアプレスタ2000

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット <b>外箱</b> の <b>コアプレスタ2000</b> の値を適用	[精度管理/キャリブ]から[項目選択]→[PT INR]の項目を選択し「ISI-加値」の数字を記入してください
トロンボチェックPT	キット添書の <b>コアグレックス800</b> の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の <b>コアグレックス800</b> の値を適用	

### ・CP3000

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット <b>外箱</b> の <b>CP3000</b> の値を適用	[キャリブ]→左下項目欄から「PT」を選択[INR検量線]→[ISI-加値]の数字を記入してください
トロンボチェックPT	キット添書の <b>コアグレックス800</b> の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の <b>コアグレックス800</b> の値を適用	

### ・S400CF

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット <b>外箱</b> の <b>S400CF</b> の値を適用	[ホーム]→[分析]タブ→[検量線]→「PT」を選択→グラフ→[ISI値]の数字を記入してください

## 49. 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

◇ 試薬キット名 ※ ( ) 内は製造販売元

試薬名	コアグピア APTT-N (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック APTT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェック APTT(S) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード 活性%で報告している場合

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
-----	---------------	---

### ※参考調査

APTTクロスミキシングテスト実施調査

・実施していない .....	10
・次の方法で実施	
混和直後の即時反応のみ測定 .....	21
混和2時間反応後の遅延反応のみ測定 ...	22
即時反応と遅延反応の両方を測定 .....	23

## 50. フィブリノゲン

◇ 試薬キット名 ※ ( ) 内は製造販売元

試薬名	コアグピア Fbg (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック Fib(L) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	(mg/dL) 整数値で報告 ※小数点以下を四捨五入
-----	---------------	----------------------------------